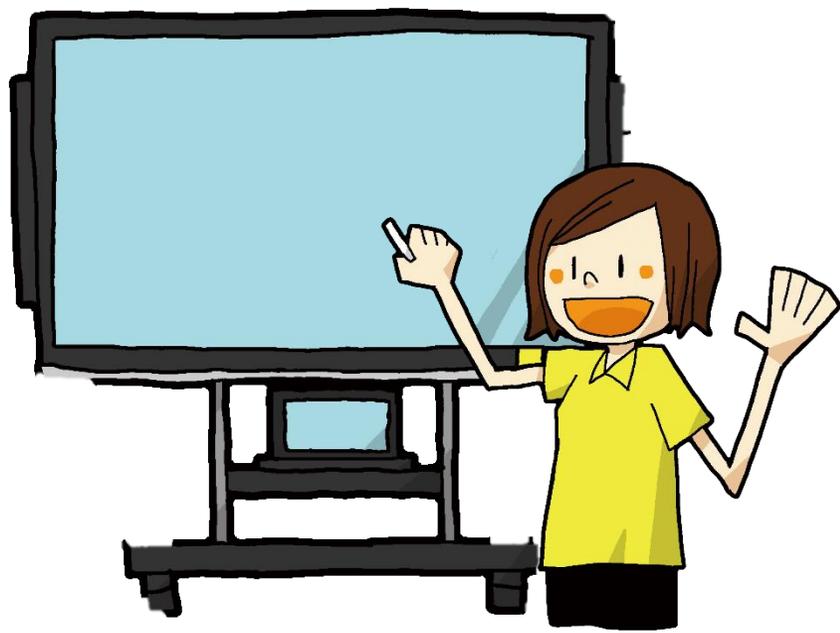


GIGA校内研修の取組について



中能登町立鳥屋小学校

岡田史子

目次

1. 目標（めざす姿）
2. 校内研修の取組
 - (1) 週1回の情報共有
 - (2) 授業での活用例紹介
 - (3) 研修センターのサポート
 - (4) 相互参観
3. 成果と課題
4. 今後に向けて



1. 目標（めざす姿）

児童

- 毎日の学習や活動の場でスカイメニューなどのソフトを用いて、日々の授業で活用しようとする。
- Eライブラリのドリル教材を使用して学習を積み重ね、自分の弱点を知り、繰り返し問題に取り組むことができる。

教師

- 毎日の学習や活動の場でICTを活用する機会をつくっている。
- 教師が、学習履歴を確認し、弱点克服のために活用することができる。
- カメラ機能やファイル共有機能等を利用し、児童の意見を集約したり、全体に広げたりすることで、対話を通じた深い学びを支援しようとすることができる。

1. 中間目標「知る・慣れる・試す」

児童

- ・ タブレット端末の使用上のルールを身に付ける。
- ・ 毎日、タブレットに触れる。
- ・ 「Eライブラリ」のドリル教材、「スカイメニュー」の発表ノートの保存等の操作方法を知り、使い方に慣れる。

教師

- ・ 授業の終末や調べ学習等でタブレット端末を使用する。
- ・ 「Eライブラリ」と「スカイメニュー」の操作方法に慣れ、教師間で、活用方法や使用場面について、成功例や失敗例を共有する。

2. 校内研修の取組

目的

- ・ 苦手意識を減らす。
- ・ 「使ってみようかな」と思えるようにする。
- ・ 効果的な使い方を知る。



2. 校内研修の取組

(1) 各自の実践について情報共有

- 時間：毎週月曜日の終礼時（5分程度）
- グループ：低・中・高のブロックごと
- 内容：先週行った実践で効果のあった使い方
上手くいかなかったことなどを共有

試す

知る



今週試してみたいことを各自決め、実践する。

2. 校内研修の取組

(2) 授業での活用例紹介



職員室のPCを使って

- (1) 実践例の動画視聴
- (2) Teamsやスカイメニューの基本的な使い方
 - ①ログイン
 - ②オンライン会議
 - ③学級の児童とのやりとり等

知る

2. 校内研修の取組

(2) 授業での活用例紹介

知る

慣れる



教室用のPCを用いて

(1) ログインの仕方

(教師用・児童用)

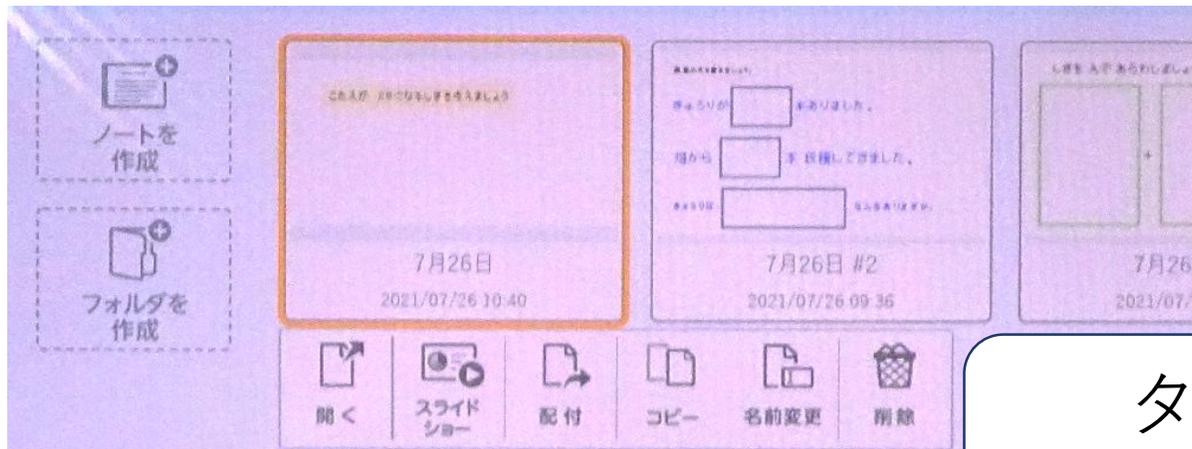
(2) 写真や動画の撮影

(3) 保存先から閲覧の仕方

2. 校内研修の取組

(2) 授業での活用例紹介

ICTサポーターの活用



タブレット端末を使い
教師と児童の立場を体験

- (1) 児童に配付する教材の作り方
- (2) 配付・回収の仕方

知る

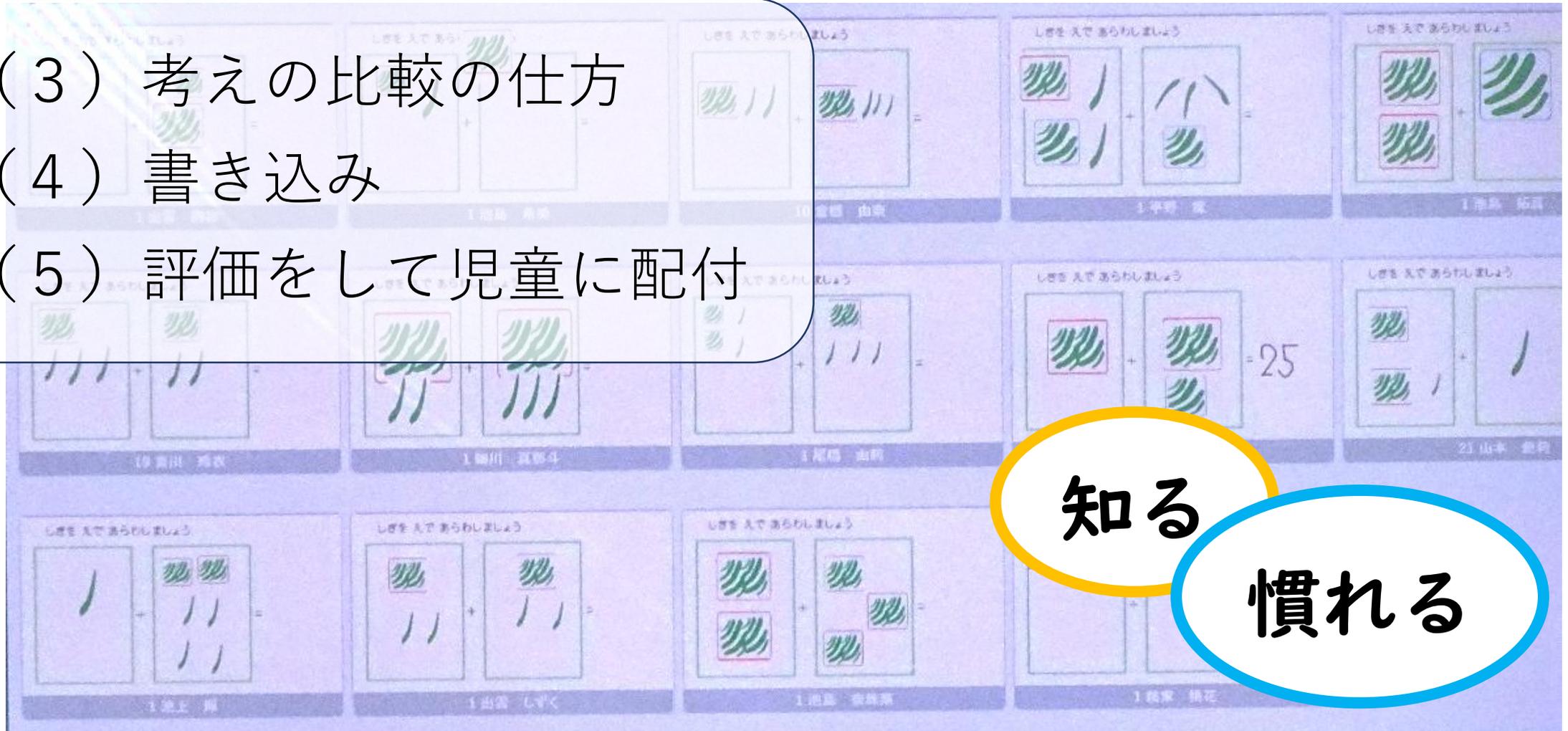
慣れる

2. 校内研修の取組

(2) 授業での活用例紹介

ICTサポーターの活用

- (3) 考えの比較の仕方
- (4) 書き込み
- (5) 評価をして児童に配付



知る

慣れる

2. 校内研修の取組

(3) 研修センターのサポート

道徳のICT活用例として

- ・ **導入**における動機付けを図る場面
(問題意識をもって考える)
- ・ **展開**における自己をみつめる場面
(自己を見つめ、多面的・多角的に考える)
- ・ **終末**における今後の発展につなぐ場面
(自己の生き方について考える)

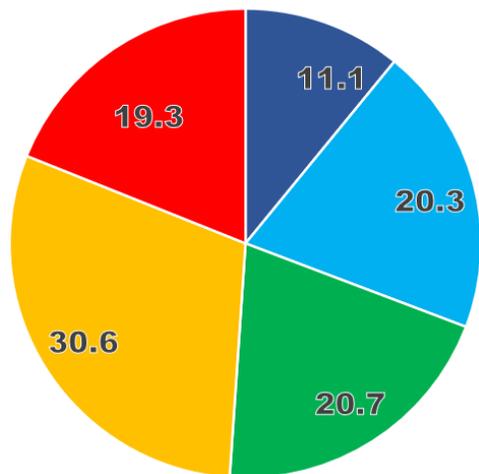


知る

2. 校内研修の取組

(3) 研修センターのサポート

太郎の言動について、自分の思いに近いものはどれですか。

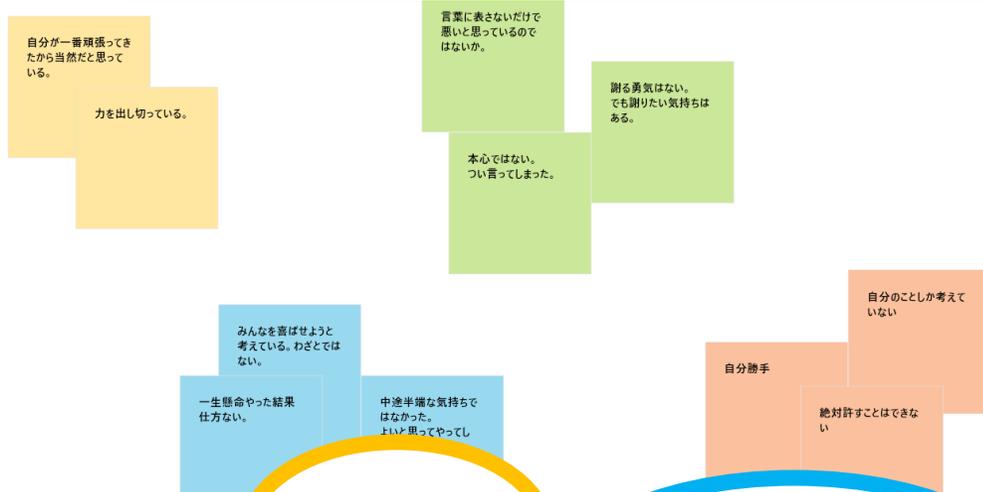


■よいと思う ■やや良いと思う ■どちらともいえない ■やや悪いと思う ■悪いと思う

可視化

アンケート機能

共同編集機能



知る

慣れる



テキストマイニング

2. 校内研修の取組

(4) 相互参観



タブレット端末を使用した授業場面の相互参観について

- 〈目的〉・タブレット端末の活用する場面について考え、使用してみる。
- ・効果的な使用場面や活用の仕方について考える機会をもつ。

☆1人2回行う。

☆相互参観の場面は、タブレット端末の使用の場面のみでよい。

☆参観可能の日時、時間帯などを表に記入する。(変更があればその都度、表も訂正してください。)

☆空き時間や見に行けそうな時間帯を見計らって他の先生方の授業を参観する。

教科や使用場面から、参観したい授業を選ぶ。

+

月	授業者	教科・時間帯	使用場面
5	岡田	総合・・・4限(後半20～)	発表ノートの使い方
	上野	国語	写真撮影と保存
6	高柴	国語	写真撮影と保存
	岩田	体育	動画で動きを確認
	岡田	道徳	ポジショニング

3. 成果と課題

成果

- ログインの仕方が身に付き，授業でタブレット端末を扱う場面が増えた。
- 写真や動画など，抵抗感の少ないものから活用できるようになってきた。
- 研修内容の他にも，タブレット端末やソフトの活用方法に興味を持つ教師がいた。

課題

- 終礼時の情報共有では，ブロックごとに行っているため，実践内容のバリエーションがなくなってきた。
- 相互参観の取組では，見たいと思った授業が自分の空き時間ではなく参観できず，活発に行うことができなかった。
- 教師の授業アイデアがタブレット端末で実現することができない場合もあった。（ソフトが対応していない，使いこなす力の不足）

4. 今後に向けて

(1) 終礼時の情報共有

- 各ブロックの取組を掲示板に示したり，推進チームが取組を報告したりすることで，来年度の児童の姿をイメージして実践に取り組めるようにする。
(失敗例も含める)

(2) 相互参観

- 決めた時間だけでなく，教師間でコミュニケーションを取り合い，自分の空き時間や予定などに応じて交渉し，授業を参観する。

4. 今後に向けて

(3) 授業での活用

① ソフトが対応していない場合

→ 他に活用することのできるものや教師のアイデアを実現できる手段がないか相談する機会の設定

(ICTサポーターの来校日, メールでの相談)

② 使いこなす力の不足

→ 計画された校内研修の実施

→ 教師がどんなことを知りたいのかアンケートで把握し, 校内研修へ生かす

→ 参考となる授業実践例の動画サイトの紹介など, 教師自ら学ぶ機会の支援

ご清聴ありがとうございました

